

令和2年度  
(2020年度)

# 乳がん(集団)検診を 実施します

〔日時会場〕 左表のとおり

〔対象定員〕 市内在住で35歳

〔内容〕 自己検診法、医師による視診・触診、マンモグラフィ(X線)検査。いずれか一方のみの受診はできません。しこりや乳頭分泌などの症状がある方は、検診ではなく、直接医療機関(乳腺外科等)を受診してください

## 乳がん(集団)検診日程表

＜受付時間＞  
平日：視触診 12:45～13:45  
X線 9:00～11:30  
X線 12:45～13:45  
日曜日：視触診、X線 8:15～11:00

実施日	会場
10日(日)	保健センター(※)
11日(月)	
13日(水)	桜井地区センター
14日(木)	
15日(金)	南越谷地区センター
17日(日)	保健センター(※)
18日(月)	蒲生地区センター
19日(火)	
21日(木)	荻島地区センター
22日(金)	保健センター(※)
24日(日)	

(※)4月1日から新住所(東越谷10-31)に移転します  
\*検診を受ける時期は、月経開始1週間後くらいが最適です。月経開始前2週間は避けてください  
\*平日は視触診検査、マンモグラフィ(X線)検査が午前と午後に分かれる場合があります  
\*ご都合が悪くなった場合の変更はできません  
\*時間の指定はできません



越谷市医師会  
吉村胃腸科クリニック  
☎963-2100  
よしむら みほ  
吉村 美保

## 大腸内視鏡検査について

皆さんは大腸の検査を受けたことがありますか。大腸がん検診で行う便潜血検査は、便に血液が混じっているか(潜血反応)をみるものです。直接大腸の中を観察して

で、本来は腫瘍があるのに、ないと判断されてしまうことがあります。では、どんな検査を受けると、直接大腸の中を観察できるのでしょうか。今回は大腸内視鏡検査を紹介していきます。

検査をするために下剤(経口腸管洗浄液)を内服していただき、肛門より内視鏡を挿入し、大腸を観察します。がんやポリープ、粘膜の炎症があった場合、検査に引き続き、必要に応じて生検(細胞をとり病理検査をすること)や、ポリープを切除することができます。これは注腸検査(バリウム検査)や大腸CT(大腸の3D-CT)と比較したときの利点です。ただし、ポリープの大きさや形態、また定期的に内服されているお薬の内容によっては日を改めたり、別の方法での治

療が必要となる場合があります。また、腸に癒着がある場合は内視鏡検査が困難なこともあります。そのような場合はまず他の検査で評価した上で、内視鏡について検討していただくとういと思えます。

切除したポリープを調べると、実は早い段階のガンであったということがあります。一方、小さなポリープの段階では自覚症状がなく、便潜血検査も陽性にならないこともあります。冒頭でも述べましたが、実際、便潜血検査では、

本来は腫瘍があるのに、ないと判断されてしまうこと(偽陰性)が30%ほどあります。故に、陰性であったからと言って、がんがないと言いつけるものではありません。

大腸がんは増加傾向で、男性では11人に1人、女性では14人に1人が大腸がんを診断されています。内視鏡検査を受けてみないと実際に病変があるかどうかはわからないのが現状です。何か気になることがある場合は一度検査を受けてみてはいかがでしょうか。まずはお近くの医療機関へ相談してみてください。

中・授乳中 ③産後・断乳後6カ月未満 ④豊胸術(抜去術後も含む)を受けた ⑤心臓ペースメーカーを使用中 ⑥前胸部にCVポートを留置中 ⑦髄液シャント術を受けた ⑧医療機関で乳房の病気の経過観察中  
\*検診受診時に介助が必要な方は、申し込み前に市民健康課へご相談ください  
〔費用〕 1500円。次の①～⑤のいずれかに該当する方は無料。①70歳以上(昭和26年3月31日以前生まれ) ②65歳以上70歳未満で障がい等で後期高齢者医療制度の保険証を持っている ③生活保護世帯に属している ④中国残留邦人支援給付制度を適用中 ⑤市民税非課税世帯に属している(同一世帯全員が非課税)  
\*⑤の方は4月1日以降に事前の手続きが必要です。詳しくは市民健康課へ  
〔申込み〕 3月19日(木)まで(必

(往信の表面) (返信の裏面)

343-0022

63円 往信

越谷市東大沢  
1-12-1  
(保健センター内)  
市民健康課行

\*この面には、何も記入しないでください

(返信の表面) (往信の裏面)

343-0000

63円 返信

越谷市〇〇〇〇〇〇〇〇  
(氏名) 〇〇 〇〇様

\*ご自分の住所・氏名を記入  
\*氏名は〇〇「様」とご記入ください

①郵便番号 ②住所  
③氏名 ④生年月日  
⑤電話番号  
(日中連絡がつく番号)  
⑥集団検診希望日  
第1希望 5月〇日(検診日)  
第2希望 5月〇日(検診日)  
第3希望 5月〇日(検診日)  
第4希望 希望会場(1カ所)

着)に、往復はがきに記入例のとおり記入し、郵送で市民健康課へ(電話や窓口での申し込みはできません)。応募は1人1枚のみ(抽選)。抽選結果は4月中旬にお知らせします  
\*落選の場合は6月・7月に実施する医療機関の検診をご利用ください。費用は同額です。詳しくは、4月に発行する令和2年度こしがや保健ガイドをご覧ください

\*油性ボールペンでご記入ください  
\*第1～第3希望(検診日)は上表参照  
\*第4希望について…以下の会場から1カ所お選びください。日程の指定はできません(保健センターは曜日の希望がある場合のみ平日または日曜日のいずれかを記入)  
南越谷地区センター/荻島地区センター/蒲生地区センター/桜井地区センター/保健センター/保健センター(平日)/保健センター(日曜日)/全会場  
\*第4希望に「会場名」を記入いただくと、第1～3希望までのご希望に添えず、かつ空きの日程がある場合に再抽選の対象となります(抽選結果によりご案内できない場合がありますのでご了承ください)

## 高齢者肺炎球菌予防接種は (ポリサッカライド ワクチン)

3月31日(火)までです

〔会場〕 通知に記載された市内実施医療機関  
〔対象〕 市内在住で、①または②に該当し、当該予防接種を初めて受ける方。①左表に該当する ②接種日に60歳～65歳未満で、心臓、じん臓、呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障がいがあり身体障害者手帳1級を持っている、またはそれと同等の障がいがあり医師の診断書がある  
〔費用〕 3000円。次の①～③のいずれかに該当する方は無料です。①市民税非課税世帯に属している(事前に手続きが必要ですが) ②生活保護世帯に属している(事前の手続きは不要、医療機関窓口で受給証をご提示ください) ③中国残留邦人支援給付制度適用(事前の手続きは不要、医療機関窓口で本人確認証をご提示ください)  
〔申込み〕 市内実施医療機関で事前にご予約ください  
\*すでに1回以上接種した方は対象外です(全額自費での接種を含む)  
\*実施医療機関は通知をご覧ください  
\*受診券がない方、市外で接種を希望する方は接種前に左記へお問い合わせください  
☎市民健康課 ☎978-3511

年齢	対象生年月日
65歳	昭和29年4月2日～30年4月1日生まれの方
70歳	昭和24年4月2日～25年4月1日生まれの方
75歳	昭和19年4月2日～20年4月1日生まれの方
80歳	昭和14年4月2日～15年4月1日生まれの方
85歳	昭和9年4月2日～10年4月1日生まれの方
90歳	昭和4年4月2日～5年4月1日生まれの方
95歳	大正13年4月2日～14年4月1日生まれの方
100歳	大正8年4月2日～9年4月1日生まれの方
101歳	大正8年4月1日以前生まれの方

のコンクールで表彰されていない ⑤審査日(4月15日)(水、午後1時30分～3時に保健センターで実施)に受診できる ⑥表彰式(6月7日)(日、保健センターで実施)に出席できる ⑦4月14日(火)までに直接または電話で市民健康課へ。表彰該当者多数の場合は選考あり。結果は本人に通知します ☎市民健康課 ☎978-3511